

【保土ヶ谷区】令和元年第 3 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和元年 9 月 4 日 午前 10 時 30 分 ～ 午前 11 時 50 分
場 所	保土ヶ谷区役所本館 2 階 202 会議室
出席者	<p>【座 長】磯部 圭太 議員</p> <p>【議 員： 4 名】齊藤 伸一 議員 青木 亮祐 議員 森 ひろたか 議員 北谷 まり 議員</p> <p>【保土ヶ谷区： 31 名】菅井 忠彦 区長 安藤 浩幸 副区長 伊澤 明 福祉保健センター長 小林 悦夫 福祉保健センター担当部長 秋山 禎治 保土ヶ谷土木事務所長 宮代 徹 保土ヶ谷消防署長</p> <p style="text-align: right;">ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 30 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について 2 令和元年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行状況について <ol style="list-style-type: none"> 2-1 令和元年度災害対策推進事業の取組状況について 2-2 防災・地域福祉保健アンケートの結果報告（速報）について 2-3 ほ도가や元気づくり事業について 2-4 横浜国立大学留学生の地域交流推進事業について 2-5 星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業について
発言の旨	<p>議題 1</p> <p>平成 30 年度保土ヶ谷区個性ある区づくり推進費等執行実績について</p> <p>北谷議員：</p> <p>スポーツの街ほ도가や推進事業に関して、保土ヶ谷区内の障害者スポーツの取組状況を教えてほしい。</p>

大山地域振興課長：

体系的に把握しているわけではないが、区体育協会で障害者スポーツの普及活動をしている。また、スポーツセンターでのスポーツ大会では、障害者競技を取り入れている。

北谷議員：

来年パラリンピックがあるので、スポーツの街ほどがや推進事業に障害者スポーツの項目だてがあっても良いと思った。その点も考慮してもらえると良い。次に、がやっこキッズ学び育み事業の実績を教えてください。

大吉学校連携・こども担当課長：

6校の小学校で実施している。どこの学校でも年間30回から40回程度実施しており、1回平均では少ないところでは11人、多いところでは40人が参加している。

北谷議員：

多くの子供たちが参加できる良い事業なので、引き続きお願いしたい。次に、学齢障害児フレンドサポート事業について、ボランティアが様々なところで不足しているという話も聞くが、ニーズには応えられているか、ボランティアは足りているのか教えてください。

飯田こども家庭支援課長：

平日や長期の休みなどにボランティアに見てもらっている間で、ご家族が余暇を取ることができるので、非常に重要な事業であると考えている。ボランティアについては、学生ボランティアや地域に住む主任児童委員にお願いするなどしている。継続していきたいので、若い人にボランティアになってほしいという思いがあり、区社協などと連携して取り組んでいる。

北谷議員：

非常に重要な事業であるので、今後も引き続きお願いしたい。最後に、一般管理費の地区センター等に関係して、国際交流ラウンジの予算・決算資料がほしい。

齊藤議員：

前日の大雨で、21時10分に一部地域に避難勧告が出たが、4か所避難所を開設しても避難者は0人だった。雨が一段落してから避難勧告が発令されたという印象が強い。方針に基づく発令ではあろうが、避難すべき地域に住んでいる方々に、事前に丁寧な説明をしておいた方がよいと思う。次に、輝けシニア！2025事業に関して、シルバー人材に代表されるような、就労の場を提供する取り組みがあるが、高齢でも元気で経験を生かしたい人には、なかなかフィットしないことが多い。もう1つ何か、地元の区というところで別の視点を持った取り組みを今後できないか。

岩井高齢・障害支援課長：

地域包括ケアシステム等の中で地域の担い手を探している。プロボノの募集に取り組んでいる事業もある。アワーズ等を通じて人材募集・発掘をしているが、情報がなかなか届いていない。総合的なことを踏まえて、情報を届けていけるよう考えていきたい。

齊藤議員：

実際にプロボノに応募し、いきいきと活躍している方もいる。情報発信について、地元の区役所はもちろんケアプラザも良いのではないか。新たな情報発信を区役所からできればお願いしたい。

森議員：

貧困と食べ残しの観点で、フードドライブの取組について区内の団体から話を聞いたところ、市全体としての取組が活発ではなく、18区の取組も区によって差異があると聞いた。保土ケ谷区のフードドライブの取組状況はどうなっているか教えてほしい。

青木福祉保健課長：

フードドライブは区民会議や花フェス等様々なイベントで行われており、保土ケ谷区ではしっかりと機能している。特に区社協では、実際に集めたものを、制度にかかる前の方々へ食料の支援を行うなど力を入れて取り組んでいる。保土ケ谷区では区社協や子ども食堂の関係者や区役所による話し合いがもたれており、他区に比べてフードドライブは進んでいると思われる。また、市ではフードドライブが昨年からはじめ、缶詰から取り

組まれているが、保土ヶ谷区ではそれ以外にも幅広い物品について協力をいただいているという実績がある。

森議員：

ガスや電気が止まるなど、本当に生活に困っている生活困窮者の方々がいる。災害備蓄品がそういった方々に対して有効に寄与すると聞いているので、入れ替え時には活用方法等を含め検討してほしい。

青木議員：

一般管理費の予算は6億近くあるのに、その内地区センター等で半分が使われている。内訳を教えてください。

大友総務課長：

地区センター等の中には、子どもログハウスや老人福祉センター、コミュニティハウスなど16施設が含まれており、これらの施設が地区センター等の施設管理費に含まれている。

議題2-1

令和元年度災害対策推進事業の取組状況について

北谷議員：

土砂災害警戒情報の周知に関して、地域住民の方から周知を徹底してほしいという要望があり以前にお願いしていたが、それが引き続き行われていることに感謝している。引き続きお願いしたい。

森議員：

地域防災拠点の水の設備について、断水があっても使えるのは災害用地下給水タンクと受水槽のみだが、地域の方々には、地域防災拠点にどのような設備があるか知っている人は少ないので、地域の理解が得られるようしっかりと周知してほしい。また、地域防災拠点は市内で459か所指定されているが、発災後すぐに水の使用ができない所が約40か所ある。そしてその内の5か所が保土ヶ谷区にあるので、早急に設置ができるよう市と連携して対応してほしい。

青木議員：

土砂災害警戒情報の出される基準や警戒区域に指定される基準は何か。

大友総務課長：

土砂災害警戒情報の発表とともに避難勧告を発令する区域が区内 12 地区指定されている。指定は県が中心になって行われており、順次指定を広げている。指定に関しては、地形等を総合的に評価して判断されている。発令基準としては、それまでに降った降雨量による土中の水分量によって基準値を設け、判定されている。

青木議員：

年々開発などが進み指定も変わっていくと思うので、見直しをしっかりとしてほしい。

大友総務課長：

見直しに関しては、がけ地の工事が終わっていると地区の指定から外れる。昨年も区内で 1 地区あった。

議題 2-2

防災・地域福祉保健アンケートの結果報告（速報）について

質疑等なし

議題 2-3

ほどがや元気づくり事業について

質疑等なし

議題 2-4

横浜国立大学留学生の地域交流推進事業について

質疑等なし

議題 2-5

星川駅周辺の総合的なまちづくりガイドライン検討事業について

北谷議員：

星川ランプ止まりのバス路線浜 17・18 について、地域の方から星川ま

	<p>で伸ばせないかという要望をいただいているので、検討をお願いしたい。</p> <p>宮本区政推進課長：</p> <p>検討対象路線の選定方法については、要望のあった路線を中心に、事業採算性や走行環境等を考慮したうえで、関係局と調整しながら考えていきたい。</p> <p>磯部議員：</p> <p>検討方法は様々あるが、星川駅周辺だけではなく広範囲で考えてほしい。動線が変わると街は少なからず影響を受けるので、自治会町内会以外の他団体や人からも意見を聞いて進めてほしい。</p>
備 考	